

# 富山県地域産業成長プランの 取りまとめについて



富山の強み×世界の潮流

5つの重点分野に投資と人材を呼び込み、  
県内企業の成長と良質な雇用へ

- 国「地域未来戦略」に呼应し、県としてプランを取りまとめ
- 今後、国との必要な調整を経て、正式に提出・公表予定

担当：商工企画課

# 富山県地域産業成長プラン

富山の強み×世界の潮流＝経済安全保障とウェルビーイングの実現

## ▼5つの重点分野(具体的な成長分野)

### 【地域産業クラスター計画】

#### ①マテリアル

アルミやプラスチック等のサーキュラーエコノミーの推進

・富山大学  
先進アルミニウム  
国際研究センター

#### ③半導体

半導体関連企業の大型投資

#### ②バイオ・医薬品

国内最大級のバイオ医薬品  
CDMO工場の開設

#### ③データセンター

AI時代を支える基盤づくり

→国においてGX戦略地域制度の有望地域に選定

### 【地場産業成長プラン】

#### ④コメ・コメ加工品

コメ及びコメ加工品（パックご飯、米菓、冷凍寿司等）の輸出拡大

#### ⑤ウェルネス・観光

健康食、伝統工芸等

クラスターの産業分野（ハード面）をさらに広げ、人々の生活や豊かさ（ソフト面）へつなげる

→癒しの聖地・ウェルビーイング先進地域の具体化

## ▼なぜ選定したのか？

### 県の最上位計画との「整合性」

- ・富山県総合計画
- ・富山県ものづくり産業未来戦略
- ・富山県地域未来投資促進計画

### 富山県が培ってきた「圧倒的強み」

- ・日本海側屈指の工業集積
- ・全国トップクラスを誇る「富山のくすり」
- ・恵まれた水資源、優れた物流網

### 世界的潮流と「経済安全保障・将来性」

- マテリアル** 国内外のサーキュラーエコノミー移行の動き＋中東情勢の緊迫化による調達リスクの高まり
- 医薬品** 国内生産やサプライチェーンの強化
- 半導体・データセンター** AI時代に対応できる国際競争力の強化

# 富山県地域産業成長プランにおける全体KGI※<sup>1</sup>について(2030年目標)

## 官民設備投資額

➤ **2.2兆円増**  
(2030年度まで累計)

国・経団連の2030年度135兆円投資目標を地域で具体化する  
先導県として、人口・経済規模から見た県相当分の概ね2倍レベル※<sup>2</sup>

## 付加価値増加額

➤ **4,600億円増**  
(2030年度時点)

県内産業（重点5分野関連）の付加価値額  
2023年度（実績値） 1.4兆円  
→2030年度（目標） 1.9兆円

## 産業人材育成数

➤ **2.5万人増**  
(2030年度まで累計)

重点分野横断の育成・リスキリング

※1.重点5分野を合計したもの(官民設備投資額及び産業人材育成数については、コメ・コメ加工品及びウェルネス・観光を除く)

※2. 日本政策投資銀行の「北陸地域設備投資計画調査」によれば、2025年度の富山県の設備投資額(計画)は1,590億円。  
仮にこれが5年間継続すると仮定した場合は累計7950億円であり、2.2兆円はその約2.8倍に相当。

国・経団連の2030年度135兆円は、全国の単年度の民間設備投資目標。

富山県の2.2兆円は2030年までの累計の純新規投資であり、性質は異なるが、135兆円を人口比・県内総生産比で富山県に按分した1.1兆円前後と比較すれば、本県は概ね2倍レベルの新規投資形成を目指すものと整理可能